



# 2022年3月期第2四半期決算 および 今後の事業展開について

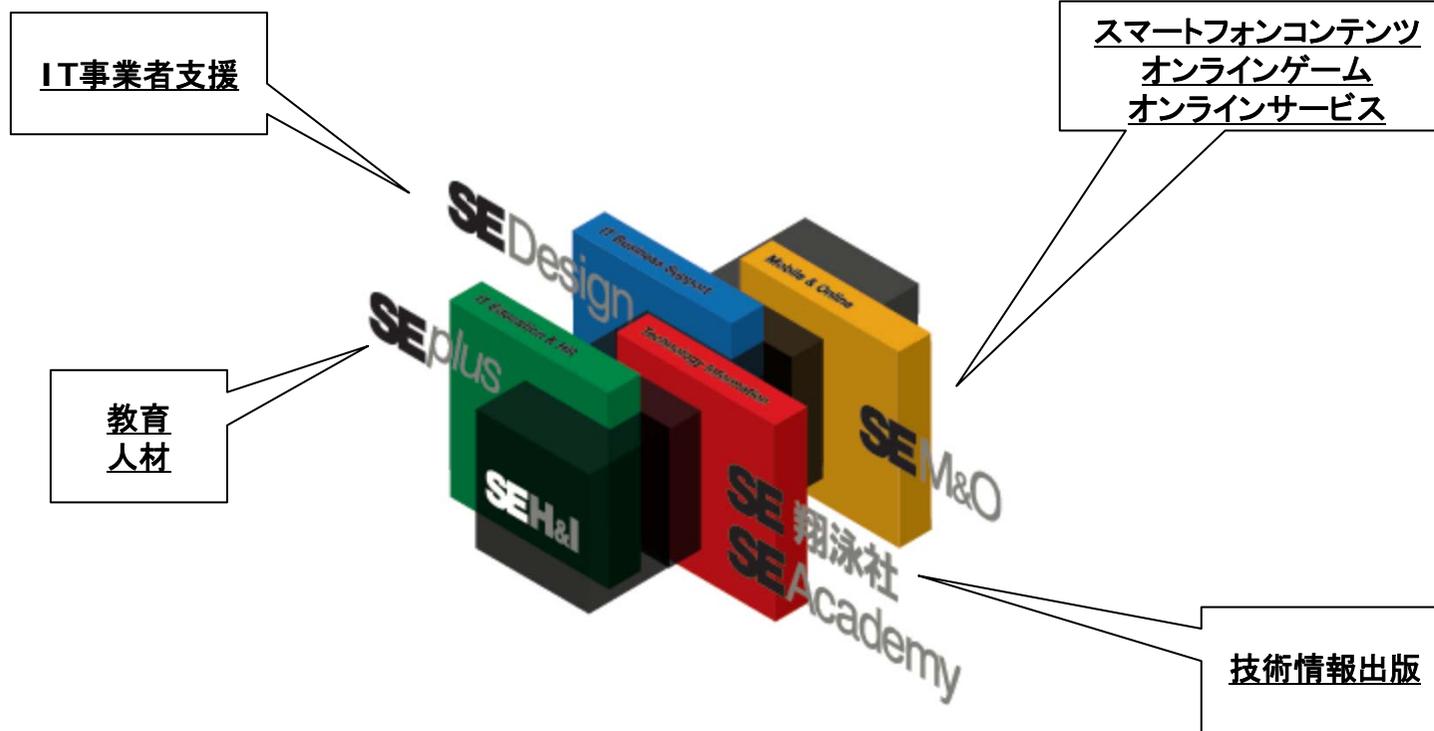
---

2021年11月  
SEホールディングス・アンド・インキュベーションズ株式会社



# 当社グループについて

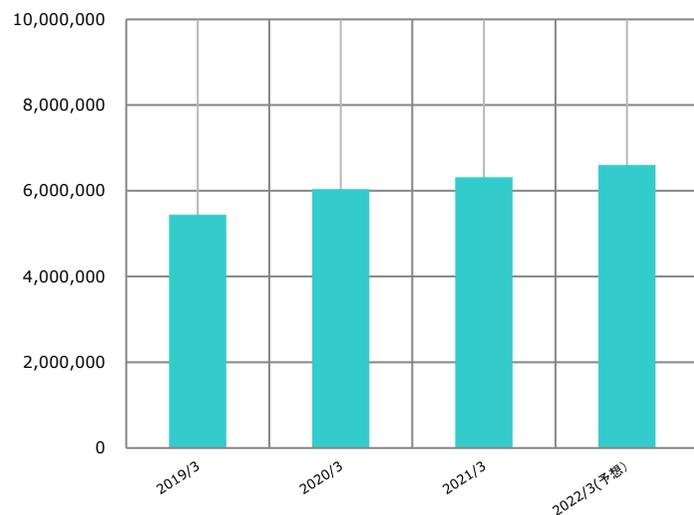
## 最適化された事業資産構成を目指すIT関連事業と長期投資を中心とした企業集団



※株式会社ゲームグース(GameGoose)は、本年10/1付で当社保有全株式を譲渡しグループ子会社ではなくなりました。  
※上記会社以外に、投資運用業務に特化したSEインベストメント株式会社(子会社)があります。

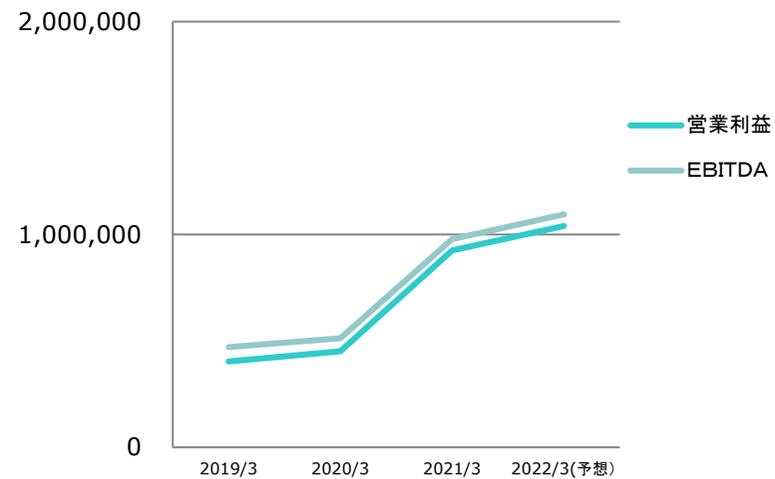
# 当社グループについて

## 売上高



## 営業利益およびEBITDA

EBITDA=営業利益+減価償却(のれん除く)



**事業・サービスのオンライン化により利益成長フェーズへ**



---

# 2022年3月期第2四半期決算について



# 2022年3月期第2四半期決算概要

---

**期初の重点課題：中長期にわたる一層の成長のために**

- 1. 将来に向けた事業会社各社の成長基盤構築・整備**
- 2. 新規収益基盤の創出**
- 3. 事業会社経営人材の拡充と育成**
- 4. 外的環境要因に耐性のある事業基盤整備**

## <概況>

- ①コロナ禍の中、従来より進めてきたオンラインビジネスの拡大と業務環境のオンライン化により、各事業共増収増益**
- ②出版事業及び教育・人材事業が前期に引き続き好調**
- ③コーポレートサービス事業は前期後半から業績回復基調**
- ④ソフトウェア・ネットワーク事業は基盤事業の成長により黒字幅拡大**
- ⑤運用収益が順調に拡大**

# 連結損益計算書

(単位:百万円、%)

	2021/9連結	2020/9連結	前期比(%)
売上高	3,431	2,863	+19.8
売上総利益	1,875	1,465	+28.0
販管費	1,153	1,061	+8.6
営業利益	722	404	+78.7
経常利益	719	411	+75.0
特別利益	6	0	—
特別損失	31	19	+59.8
親会社株主に帰属する四半期純利益	476	250	+90.4
※包括利益	490	411	+19.4

# 事業セグメント別損益(出版事業)

## IT関連書籍出版等

---

	2021/9 連結	2020/9 連結
売上	2,146	1,788
セグメント 利益	643	445

- **既刊書籍販売、Webメディア、イベント、電子書籍各事業売上が期を通じて好調**
- **リモートワークなど業務の効率化を継続**



## 事業セグメント別損益(コーポレートサービス事業) IT関連企業向マーケティング・プロダクト関連支援

---

	2021/9 連結	2020/9 連結
売上	322	269
セグメント 利益	14	△26

- **前期後半からの業績回復基調を維持**
- **主要顧客からの一定の受託案件確保、利益率向上**

## 事業セグメント別損益(ソフトウェア・ネットワーク事業)

ソフトウェア開発、コンテンツ開発・提供

	2021/9 連結	2020/9 連結
売上	438	358
セグメント 利益	45	11

- **ゲーム・アプリ受託開発、既存コンテンツ、ソリューション事業など基盤事業やサービスが好調に推移**
- **ゲーム施設運営子会社を売却**

# 事業セグメント別損益(教育・人材事業)

## IT技術者教育、医療系人材紹介

---

	2021/9 連結	2020/9 連結
売上	433	377
セグメント 利益	132	74

- **Web研修拡販により、IT技術者研修事業が前期に引き続き好調**
- **医療関連人材紹介事業も順調で、大幅増収増益**

# 事業セグメント別損益（投資運用事業）

## 有価証券投資、不動産投資

---

	2021/9 連結	2020/9 連結
売上	90	69
セグメント 利益	71	35

- **安定的な投資継続、景気回復に伴う増復配に伴いベースの運用収入が増加**
- **事業環境も概ね良好に推移**

# 連結資産・負債の状況

(単位:百万円)

勘定科目	2021/9連結	2021/3連結	比較増減	主な要因
流動資産	8,391	7,965	+426	営業投資有価証券 +276、現金及び預金 +219
固定資産	2,164	2,163	+0	繰延税金資産+22、敷 金及び保証金△31
資産合計	10,555	10,128	+427	
流動負債	3,379	3,258	+120	その他+182、短期借 入金+158、返品調整引 当金△99、未払法人税 等△89
固定負債	1,255	1,344	△88	社債△65、長期借入金 △31
負債合計	4,635	4,603	+32	
純資産合計	5,920	5,525	+395	利益剰余金+418、自己 株式△38
(自己株式)	(△324)	(△286)	(△38)	
有利子負債	2,651	2,600	+51	

# 2022年3月期通期連結業績予想

単位:百万円

	2021/3連結	2022/3連結	前期比
売上高	6,317	<b>6,600</b>	+4.5%
営業利益	924	<b>1,040</b>	+12.5%
経常利益	901	<b>1,040</b>	+15.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	573	<b>670</b>	+16.9%

(注)現時点では2021年10月21日に公表した連結業績予想に変更はありません。

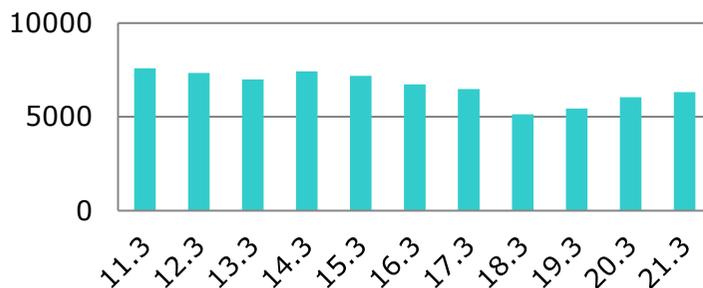


---

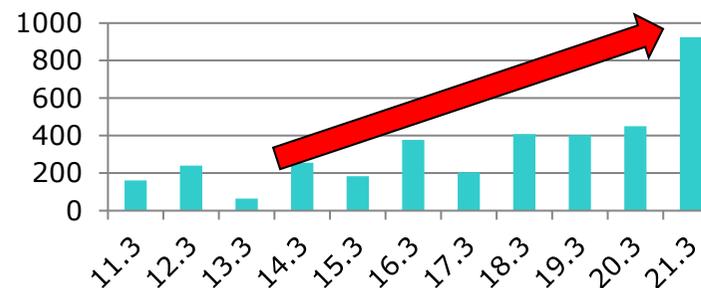
# 今後の事業展開について

この10年間安定した利益成長を実現。  
事業環境へ適応力を生かしさらなる利益成長を目指す。

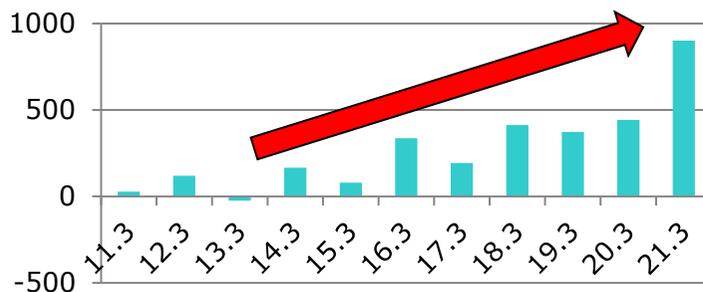
売上高



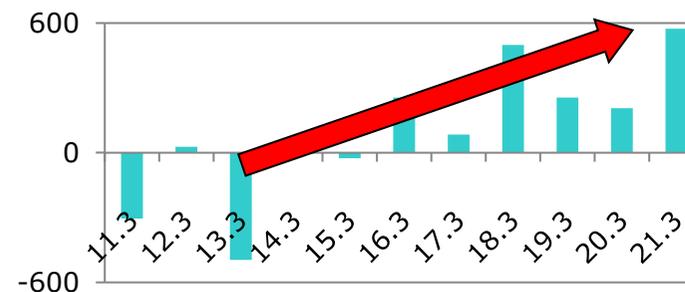
営業利益



経常利益



当期純利益



# 中長期の成長へ向けて

---

## 中長期成長へのポイント

デジタルコンテンツ・オンラインサービス・定額サービスなどを拡大





# 中長期の成長へ向けて

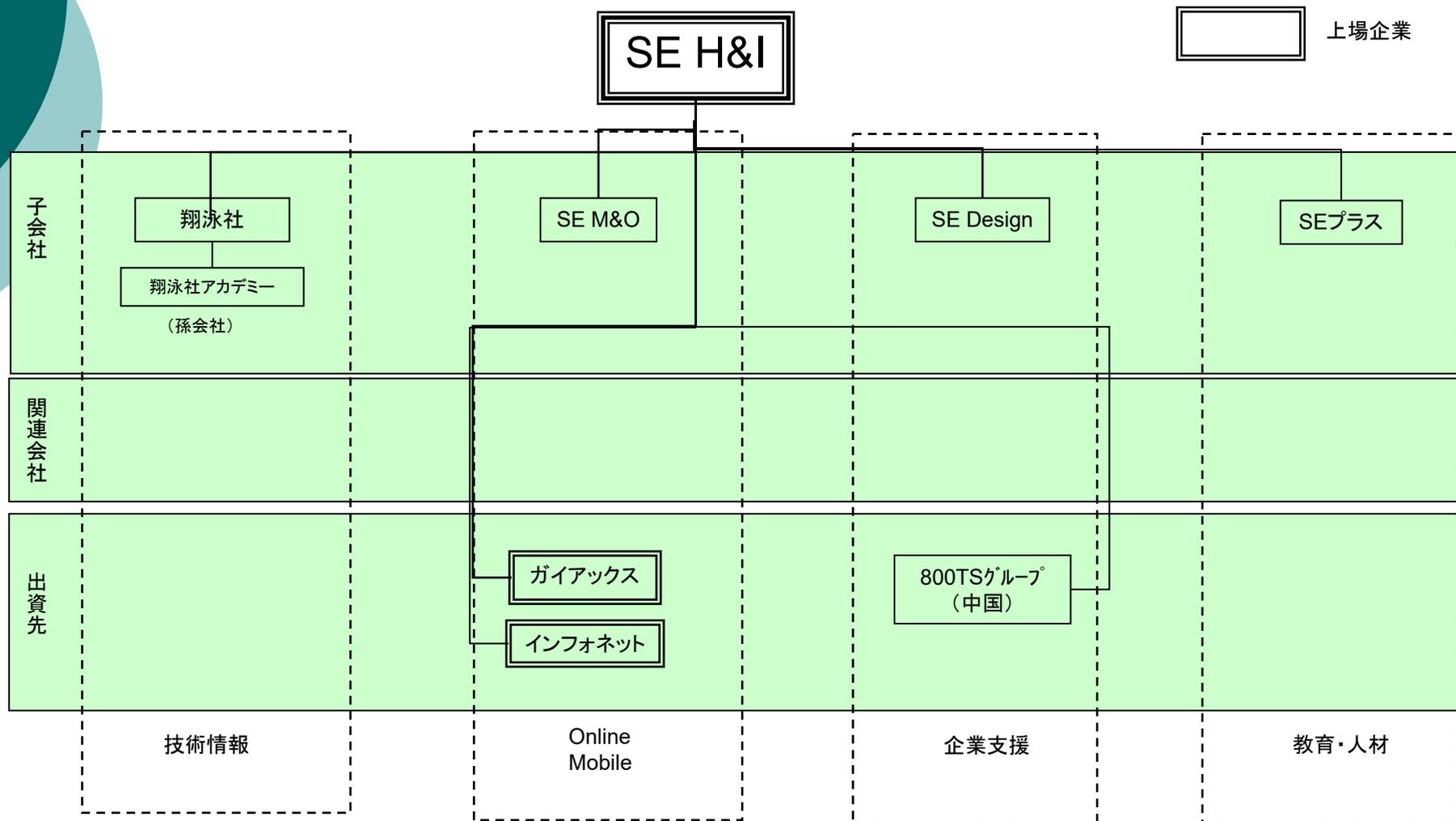
---

## オンライン化・デジタル化を継続推進

1. 数年来拡大を図ってきたオンラインサービス、デジタルコンテンツビジネスの収益基盤拡大
  - Webメディアおよび電子商材の強化
  - オンライン販売ルートの強化
  - オンラインサービス・定額サービスの拡大
  - オンラインマーケティング支援
2. 業務環境のオンライン化
  - リモートワーク・テレワークなどによる業務環境の効率化推進を継続

## 長期的視野に立った事業投資・運用投資を継続

# SE Holdings&Incubationsの事業会社構成



他に投資運用事業に特化したSEインベストメント(子会社)があります。



# 総括

---

- **最適な企業構成によりグループの成長を目指す。**
- **2022年3月期第2四半期は、コロナ禍の中、オンラインビジネス拡大・業務環境のオンライン化により、各事業共増収増益**
- **出版事業及び教育・人材事業が引き続き好調。ソフトウェア・ネットワーク事業が黒字幅拡大。コーポレートサービス事業は前記後半からの業績回復基調を維持。**
- **中長期成長へオンラインサービス、デジタルコンテンツなどの拡大と業務のオンライン化で業務効率の更なる向上を図る。**
- **環境変化に強い企業構造・グループ構造を目指す。**



---

ご不明な点、追加のご質問等は下記までご連絡ください。

SEホールディングス・アンド・インキュベーションズ株式会社  
経営企画部経営企画課  
03-5362-3700  
ir@sehi.co.jp

- 本資料は、情報提供のみを目的としたもので、その他一切の目的を意図して作成したものではありません。本資料の情報は当社が信頼できると判断した情報源から入手したものです。その情報の正確性、完全性を全面的に保証したものではありません。また、本資料に記載された見解や予測等は、作成時点における当社の判断であり、今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。